

公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

1. 職名及び人員 准教授または助教 1名
2. 所属 総合科学教育研究センター（本荘キャンパス）
3. 専門分野 英語教育学・教育学（学習支援システム）・国際教育、その他英語関連分野のいずれか
本学では、学生の国際性を涵養できる教養英語担当教員として、幅広い英語関連分野の人材を求めています。特に、学習支援システムの専門性を有し、生成AI・ICTを活用した授業運営や教材開発ができる人材、英語教育学の専門性を有し、生成AI・ICTを活用した授業に対応したカリキュラムを設計できる人材、及び国際教育の素養と実績を持つ人材を重視します。
4. 担当授業科目（学 部）主としてシステム科学技術学部が開講する下記授業科目の担当を予定しています。
CALL I・II、教養英語II・III・IV、グローバルチズンシップ A、総合科目（分担）など
5. 応募資格 (1) 修士以上の学位を有し、研究上の業績を有すること
(2) 当該分野の教育、研究及び地域貢献に熱意を有すること
(3) 国籍は問わないが、ネイティブスピーカーに準ずる英語力があること
ネイティブスピーカーの場合は日常業務を滞りなく日本語で行えること
(4) 英語教育に関する実績を有すること
(5) 採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 2026年4月1日
7. 勤務条件等 (1) 身分 公立大学法人職員
(2) 給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制（本学給与規程による。）
(3) 勤務 裁量労働制
(4) 任期 5年以内の任期制（再任は勤務成績により判断するが、再任回数に制限はなし。）
(5) 定年 67歳
8. 応募書類 (1) 履歴書（本学所定の様式1*による。）
(2) 研究業績書（本学所定の様式2*による。）研究業績は、①学術論文（査読付き）、②国際会議発表論文（査読付き）、③その他に分類して記載してください。また、主要なものには○をつけてください。
(3) 主要論文（著書を含む）准教授は5編、助教は3編（URLの記載またはコピー可）
(4) これまでの研究、教育及び社会活動（地域貢献を含む。）の概要（1,000字程度）
(5) 教育に対する抱負（1,000字程度）
(6) 研究・地域貢献に対する抱負（1,000字程度）
(7) 応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先
(8) 科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧
※ *印：履歴書（様式1）及び研究業績書（様式2）については、ホームページ（<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>）をご参照ください。
9. 応募締め切り 2025年9月16日（火）必着
10. 選考方法 (1) 第一次選考 提出書類審査、本センター選考委員会による面接（模擬授業を含む）
(2) 第二次選考 プレゼンテーション、学長・副学長による面接
※ 第一次選考及び第二次選考の面接はオンラインで実施する場合があります。
※ 対面にて面接を実施する場合の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先
〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西 241-438
秋田県立大学総合科学教育研究センター 教員選考委員長 内山広信
TEL：018-872-1602（ダイヤルイン）、E-mail：uchiyaama@akita-pu.ac.jp
提出方法： 郵送※1、または JREC-IN Portal Web 応募※2
※1 封筒の表に「総合科学教育研究センター教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。
※2 必要書類を添付してください。
応募書類は返却しません。

12. その他

本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく公立大学法人秋田県立大学一般事業主行動計画：
https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20250404_koudou03.pdf)

今回の公募で求める人材像（英語）
（総合科学教育研究センター）

1. 教育について

本学は、「時代の変化に対応できる問題解決能力と、自ら能力を磨くことができる基礎的能力を兼ね備えた人材の育成」、「現代の科学技術の幅広い要請に応えられるよう、問題発見能力と解決能力を兼ね備えた、研究者・技術者および教育者の育成を目指す教育」を教育目標としています。そして、教養教育を担当する本センターは、グローバルな視点と地域の持続的発展に寄与するローカルな視点を併せ持ち、科学技術の進展等の諸変化にも自律的に対応し得る「統合された知」の基盤を涵養することを基本理念とし、その実現のための目標として、専門分野の枠を超えて共通に求められる思考法等の知的技術、人間としての在り方や生き方に対する深い洞察力、現実を柔軟かつ的確に認識・理解する力を身につけさせることを設定しています。

これらの目標達成のため、本センターでは、学生の多様なニーズに応じた英語科目を提供しています。具体的には、コミュニケーションの基本を習得する「CALL」科目や、「話す・読む・書く」能力を向上させる科目、TOEIC などの資格試験に対応した科目を開講しています。さらに、海外への積極的な姿勢を養い、グローバルに活躍できる人材を育成するために、海外語学研修などへの支援も行っています。

以上より、本公募では、学生の国際性を涵養できる教養英語担当教員として、幅広い英語関連分野から優れた英語能力を有する人材を求めます。特に、学習支援システムの専門性を有し、生成 AI・ICT を活用した授業運営や教材開発ができる方、英語教育学の専門性を有し、生成 AI・ICT を活用した授業に対応したカリキュラム設計が可能な方、及び国際教育に関する素養と実績を有する方を重視します。また、国籍は問いませんが、日常業務や事務手続きに支障のない日本語運用能力を求めます。配属先は本荘キャンパスを予定しています。

2. 研究について

本センターでは、「教育を重視する研究大学」という本学の運営方針のもと、各教員がそれぞれの専門分野において大きな研究成果を上げています。本公募でも、積極的に外部の競争的資金を獲得し、査読論文を執筆して、自身の研究を発展させていくことのできる人材を求めます。

3. 地域貢献について

本学は県立大学という特性上、行政機関とのつながりが強く、本センターも教員の多くが地域貢献として各種講演会・講習会等の講師、各種委員会・審議会等の委員を務めています。本公募による新任教員に対しても、英語教育等の専門性を背景にした地域貢献活動に積極的に取り組んでいただけることを期待します。

本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

総合科学教育研究センターの構成

2025.07 現在

本センターは、専門分野を異にする研究者の集合体であり、「人間科学研究グループ」と「英語研究グループ」の二つのグループで構成されています。本センターの理念は、グローバルな視点と地域の持続的発展に寄与するローカルな視点とを併せ持ち、科学技術の進展等の諸変化にも自律的に対応し得る「統合された知」の基盤を涵養することです。

人間科学研究グループ 8 名（特任教授 1、教授 3、准教授 3、助教 1）

- 秋田県の近代文学を対象とした風土と文化との関係性についての研究（文学）
- 動物飼育施設でのオープンラボ型比較認知研究の効果検証と地域社会への還元の検討（心理学）
- セーレン・キェルケゴールの生と思想を手がかりとした人間の生き方についての研究（哲学・倫理学）
- 知識や文化（ものの見方や考え方）の働き、その人間と社会との関わりについての研究（社会学）
- ヒトの姿勢制御メカニズムを明らかにして高齢者の転倒予防に貢献するための研究（体育学）
- 一般相対論や流体力学における運動方程式の数理的側面の研究（物理学）
- 「自己理解」の方法、「仕事理解」の方法についての研究（キャリア教育学）
- 資質・能力を育む学習過程を重視したカリキュラム開発に関する研究（学校教育学）

英語研究グループ 7 名（教授 2、准教授 2、助教 3）

- 学習内容を中心とした英語教授法についての研究（英語教育学）
- 英語リスニング、リーディングに関する e-learning 教材の開発研究（英語教育学）
- エリザベス朝演劇についての研究（英文学）
- 英語教育、障害に関連した研究（英語教育学）
- コミュニケーション・ランゲージ・ティーチングによる学習者中心の授業と学習環境デザインの研究（英語教育学）
- 白鳳時代の仏教美術の研究（比較文化学）
- 20 世紀の英文学における演劇理論と東西の舞踊との関連性についての研究（英文学）